

十勝地方で小麦の刈り入れが始まったと言うニュースがあったばかりだが、時ならぬ雨に見舞われ、これで収穫時期が大きくずれ込むことは確実だ。小麦の水分含有量が 30%以下にならないと一般的には刈り入れは行わないようだ。暫くぶりの雨でもあり、小麦農家以外の方については、慈雨と言えるかも知れぬ。(7/29 記)

さて、前号に引き続き、音楽隊員の知られざる一面を紹介しよう。

音楽隊員には、我々が思う以上に体力が必要である。自衛隊の式典演奏などを見てみれば明らかだが、15kg 近くもある重いチューバや 10kg 近いユーフォニュームを持ったまま、しかも背筋をピシッと伸ばして、長時間、観衆の注視の中で演奏しなければならぬ。それは並大抵の体力ではない。

以前、音楽隊と共演して頂いたハーブ奏者の板本絹子さん(三村ハーブアンサンブル団員として美智子妃殿下(現皇后陛下)御前演奏をされたことがある。釧路市在住)も、ハーブを始め音楽演奏というのが、如何に体力を要するかについて話されたし、その為に筋トレを欠かさなかったとも言っておられたが、成る程と思った次第である。

リードを使う楽器を演奏する者は、歯がガタガタになると言う。相当に強い力でリードを噛み締めざるを得ないのである。定年 60 歳の音楽隊員は、大変厳しい状態に直面することになる。正に、音楽隊員にとっては体力が基本である。その為、一日 2 時間程度は、体力練成の時間に当てている。

音楽隊にとって最大の目標は毎年 6 月に実施している定期演奏会である。自分達の一年間の訓練成果を披露する絶好の機会である。自分達のレベルを広く音楽関係者に周知・宣伝する場でもあり、毎回音楽関係者から高い評価を得ている。

一方、音楽の面白さや楽しさを一般の方々に知ってもらうために企画しているのが、ファミリーコンサートであり、通常は帯広と他一個所で年度末に実施しており、多くの家族連れで賑わっている。

これらの演奏会のプランニングからディレクター、大道具・小道具の作成まで全て隊員の手作りである。処々に素人臭もあるところがなんとも言えず、受けている(?)。が、段々とレベルアップしていることも事実だ。若い人のアイディアと実行力は大したものだ。

演奏会やその他の演奏支援において、何よりの慶びは、聴衆が感動してくれていると感じられた時であり、音楽隊員で良かったと感じるという。聴衆の割れんばかりの拍手・喝采にまた、明日への力と希望を貰うと言う。

何処かで、彼(女)等の演奏を聞く機会があり、もしあなたが感動したのならば、惜しみない拍手をお願いしたい。それが彼(女)等の明日への活力である。

最近入隊する音楽隊員は専門的な教育を受けた者が多い。その昔、音楽を趣味としていた者が音楽隊員になった頃とは様変わりしている。音楽隊員になるには、自衛官採用試験に合格すると共に、音楽隊員としての素養を厳正にチェックする為にオーディションを受け合格しなければならない。希望者殺到で、狭き門である。

近年、益々音楽隊のレベルは向上しているが、その一因には、今述べたような入隊する者

の素養の高さがあり、加えるに、十分な練習時間の確保があろう。今時、音楽で飯が食えると言うのは大変なことだと思う。そのことを意識している彼(女)等は、訓練熱心である。素養の高い者が熱心に訓練するので、レベルは益々向上する道理である。

今年度の定期演奏会は終了したので、次のビッグイベントはファミリーコンサートである。師団の旅団化の関係もあって、異例ではあるけれども、今年度は12月20日に帯広文化ホールにおいて行う予定である。皆様の多数のご来場を音楽隊の隊員共々お待ち申し上げます。細部については、第5師団司令総務課広報班（ admin@5d.nae.jgsdf.go.jp ）迄問い合わせ下さい。